

洗足のICT授業 ～JEITA(電子情報技術産業協会)～

7月17日(水)に中学3年生は学年全体でICTの授業を受けました。その一環として、JEITA(電子情報技術産業協会)の方に御来校頂き、クラスごとに講演をお願いしました。その様子をお伝えします。

講演のテーマは3つ。「生活を支える電気製品～電気製品の中身としくみ～」、「人工知能と人間」、「未来を築くITエレクトロニクス」。それぞれの講師の先生から、様々な視点からお話しをして頂きました。

講演を通して、日常生活に不可欠になっている電気製品の仕組みについて、目を向けるきっかけになったようです。普段使っている掃除機を例に、使われている技術やこれからの発展について学びました。

また、これからはAIに仕事を奪われていく時代であるとお話しもありました。AIを通して、未来を考えることの重要性について、講師の先生の思うところを聞かせて頂きました。技術開発や電力消費と温暖化の関係や少子高齢化とAIの活用など、身近な問題と電子技術には大きな関わりがあることを生徒たちは実感したようです。

以下に生徒の感想と、印象に残ったフレーズを紹介します。

【感想(一部抜粋)】

- 自分で機械を開発して、より快適な生活が出来たら楽しそうだった。
- 思っていたより、身近な世界だと思った。
- AIに負けないような技術を身につけたい。
- 当たり前に使っている電子機器と、高齢化がリンクするとは考えたことがなかった。
- 講師の先生が楽しそうに話してくれたので、仕事に対して前向きですごいと思った。

【印象に残ったフレーズ】

- AIを通して未来を考える
- 後ろの世代に課題を残さないように

